

## 種目【美術】調査研究資料

調査項目	着眼点	調査の方法
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むこと	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	・指導内容の系統性や学校段階間のつながりを踏まえた内容がどのように取り上げられているか。また、その題材の構成・配列はどのようなようであるか。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	・生徒が造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図るために、どのような内容が取り上げられているか。また、その程度や分量はどのようなようであるか。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促すとともに、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	・生徒が社会や生活と関わりながら学習したり、学習意欲を喚起したりするために、どのような題材や図版等が扱われているか。また、その分量はどのようなようであるか。
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	・生徒が自分で考え、自分で学習を進められるように、学習の目標や振り返りの視点などの程度や分量はどのようなようであるか。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県に関わる美術の文化遺産や作品及び美術館の活用に関する活動等について、どのような内容が取り上げられているか。また、その分量はどのようなようであるか。</li> <li>・写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアを活用した活動について、どのような内容が取り上げられているか。また、その分量はどのようなようであるか。</li> </ul>	
4 印刷・製本等にかかわること	(1) 教科書の重量やページ数	・教科書の大きさ、総ページ数や重量等はどのようなようであるか。
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	・印刷の状況（鮮明度や美しさ）、UDフォント、配色やレイアウト等について、障がいその他の特性の有無に関わらず生徒が見やすいものになっているか。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	・目次、索引、注、凡例や巻末資料等について、どのような特徴があるか。

### 調査項目・着眼点の根拠

■ 中学校学習指導要領  
(平成 29 年告示)

第 1 章 総則 第 1 2

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実を図ること。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

■ 岐阜県教育振興基本計画 (2019 年 3 月)

基本方針 3

目標 11 「これからの時代に求められる資質・能力」の育成

